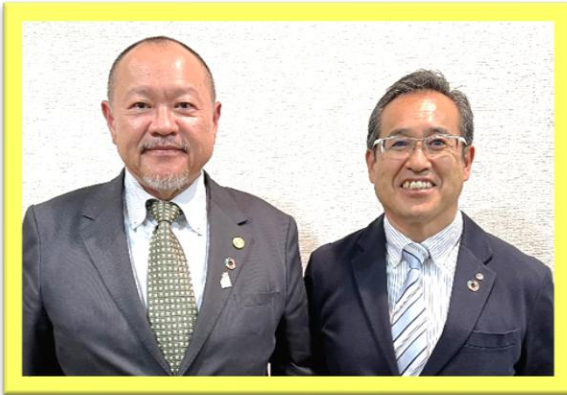




草加松原ロータリークラブ

2024-25年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーのマジック



第609回例会 2月4日 草加市文化会館

＊＊本日のプログラム＊＊

開会点鐘	会長挨拶
君が代斉唱	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
ロータリーの目的	SAA報告
四つのテスト	出席報告
お客様紹介	閉会点鐘

誕生祝・結婚祝

1月28日の例会記録

◆ 会長あいさつ 富永 悟会長

改めまして皆さんこんばんは、今日は八潮でちょっと大きい事故が起きたようで、うちの屋上に出たらヘリコプター3機も4機も飛んでいてぐるぐると回転しているので、何かあったのではないかとうちの奥さんに話しから、直ぐにネットで調べ、八潮で道路が陥没して車が落ちてしまったとのこと、頭の先端から中に突っ込んだみたいですが、水道管が劣化して陥没した。たまにニュースや世界仰天ニュースとかで見ると言うことが日本で身近に起こったと言う事で、ちょっとビックリしたのですが、やはり全てにおいて完璧じゃないということで、皆さんどうぞ気を付けていただきたいと思います。

そして風邪、インフルエンザですか！だいぶ流行っているようです。私もちょっと鼻水が出るのですが、すすりながらやっていますけど、お体に十分注意してください。

今日は山崎年度、前年度草加松原 RC が財団の寄付100%、200ドル以上寄付100パーセント達成！そしてポリオ寄付50ドル以上、これも100%達成をしたということです。例年、草加松原 RC は達成させていただいているわけですが、皆さんのお陰をもちましてこのようなバナーを国際ロータリーからいただきました。

こちら「Average TRF Giving」あともう一つは「Every Rotarian, Every Year club」100%と言う事でいただきました。こちらはクラブの会長様宛ということで、ロータリーファンデーションからお知らせが来ておまして、内容を読み上げさせていただきます。「平素より大変お世話になっております。ロータリー財団管理委員会に代わり貴クラブ会員からの惜しみないご支援に心から感謝し、この特別な

2023-24 年度バナー表彰及び感謝状をお送りいたします。貴クラブは、世界36,000以上のロータリークラブの中から以下のような複数に該当するクラブとして表彰されます」と言う事でいただきました。こちらは、わずか1520クラブしかいただけていない栄誉です。それからもう一つ、「Every Rotarian, Every Year Club」バナーは、世界でわずか3800クラブがいただけたそうです。10クラブに1体と言うような形ですね！それから100%ロータリー財団寄付クラブということで、世界でわずか4600クラブです。と言う事で、このような賞をいただきました事をご報告させていただきます。山崎直前会長、どうもご苦労様でした。私の年度もこれがいただけるように、次年度木村エレクトから富永直前ご苦労様でしたと言われるよう頑張りたいと思いますのでどうぞ皆さんご寄付の方も宜しくお願い致します。以上会長あいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

今日は二階堂幹事が欠席ですが幹事報告はございません

今後のプログラム

2/11 休会(建国記念の日)

2/18 卓話 木村会長エレクト レセプション

2/25 卓話 米山奨学生 謝 嘉杰くん レセプション

1月28日 ニコニコBOX

金額	10,000円	累計	410,000円
----	---------	----	----------

1月28日 出席報告

会員総数	35	出席	9
出席免除	5	MU	2
出席適用	30	出席率	36.67

国際ロータリー第2770地区第9グループ

草加松原ロータリークラブ

会長：富永 悟
幹事：二階堂祐司

例会日：毎週火曜日 19:00~20:00

例会場：草加市文化会館

事務局：草加市青柳 8-56-21

TEL/FAX 048-967-5315

PC: sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp



「ラーニングセンターについて Vol.4」

安田洋介IT委員長

皆さんこんばんは、今期4回目ということで、まずは1年に4回もさせていただくことになると思わなかったのですが、ラーニングセンターについて4回目を始めさせていただきたいと思います。ここまでに「My Rotary」につきましては何度か説明をさせていただいております。インターネット上で「My Rotary」を検索していただいて、ご自身のIDとパスワードを入れていただくとこのように登録しているお名前が出て、この状態がログインされている状態になります。こちらの画面下の方に進んでいただくと、これも前にお話しさせていただきました3つのコンテンツがありまして、ラーニングセンターはこの真ん中の部分です。こちらになります。クリックしていただいて進めていただくとコース別出てきまして、今まで3回やらせていただきましたが、これまで3回はロータリーについて、もしくはロータリーの参加というところの中から勉強の内容を拾わせていただいたのですが、今回4回目ということで最後です。このスキルの習得というところで、このスキルの習得というところの中は、ちょっとマニアックなというか上級者向けの内容になっていました。



例えばですけど「効果的な進行の秘訣」というのは、先日、私が受講させていただきました「RLI」の講師をやる時に学ぶといい内容であったりと、そういったものがこう形成されているような状態です。

今回、この中から「無意識のバイアス」というのがありました。ちょっと興味深い内容だったので、今回はチョイスさせていただきました。ここで、前回までのプログラムを少しおさらいさせていただいて、は、「Vol.1」は9月にやらせていただいた「ロータリーの基本知識」を皆さんと一緒に学ばせていただきました。「Vol.2」では「ポリオ根絶の重要性について」ということで、なぜロータリーがポリオ根絶に力を入れているのかというところを皆さんと一緒に学ばせていただいて、前回「Vol.3」では、今、タイムリーなネタで「DEI+B」ということで、多様性、公平さ、インクルージョンへの取り組みをどのようにロータリーが行っているかと言う事を学んでまいりました。

4回目ですがこの「無意識のバイアス」です。この無意識のバイアスについては、ちょっと今までと様子が違うのです。今までの内容はロータリーがどんな基本知識というところと言うと、ロータリーってこんなものですよとか、もしくは「ポリオの根絶」とか「DEI+B」についてはこういう取り組みをしていますよということを解いているランニングが多かったのですが、今回はちょっと様子が違っていて、皆さんにロータリアンとして、こんな立ち振る舞い、考え方はどうでしょうというものを提唱するような、そんな事業になっていました。

早速始めさせていただきたいと思います。「無意識のバイアス」について、まず、無意識のバイアスとは、誰か(または何か)に対する感情や先入観であり、理由や証拠に基づいて導かれた結論とは異なるものです。バイアスにより、個人や集団が好意的に扱われる場合もあれば、その反対に不利に扱われる場合もあります。ということが書いてあります。このバイアスについての説明で、ここの下線引かせていただいたのですが、理由や証拠に基づいて導かれた結論とは異なる、いわゆる根拠のないものです。思い込みという言い方がもしかしたらふさわしいのかもしれませんが、そういったものを総称してバイアスという言い方をしています。自分が持つバイアスを自覚している場合は、これは意識的な場合です。自覚していない場合は「無意識のバイアス」という風に解決されるということが解かれています。ちょっと厄介なのが、もしかしたらこの「意識的なバイアス」の場合は、感情や態度について自覚があるため、それに基づいた言動は明らかに意図的なものです。意識的なバイアスは「氷山の一角」、つまり目に見えている部分でそんなに大きな問題があるとはちょっと思い得ないところですけども、最も深刻なケースでは、意識的なバイアスが人や集団に対するあからさまで否定的な言動やハラスメントにつながります。肉体的暴力や言葉による暴力、仲間はずれといった言動で現れることもあり、多くの場合、このような言動は法律や方針で禁じられています。

昨晩も夜中まで記者会見をやっているようなメディアの不祥事などもありましたけれども、職場や学校でもあるいじめですね！暴力や仲間外れといった言動に当てはまるのかなと思いますが、これは意識的なバイアスに対する説明です。

一方で、「無意識のバイアス」については、感情、印象、恐れなど、意識の表面に現れず、自覚がありません。このような思い込みは、決定や判断に大きな影響を与えてくる。無意識のバイアスは、意識外で働くものであり、自覚している信念や価値観と矛盾することさえあります。要は、口では今私がお話しているようにこうあるべきだとか、こんなことはしてはいけない、もしくはこういう人間でありたい、私はこういう人間だって言っている割には、自分でも自覚をしてないのですけど、とっさの判断の時に、口で言っていることと違う判断をしてしまうという、ある意味、人間の二面性の部分ですかね！そういったことの方を指していきます。

意識的なバイアスと同じように、無意識のバイアスも人や集団に対する否定的な言動やハラスメントの原因となる可能性があります。無自覚であるため、意識的なバイアスによる言動よりも意図的ではないものの、他人を傷つけてしまう可能性は十分にあります。どのように形成されるかというところですが、私たちの周囲には、画像や映像、音声、その他の種類のメッセージがあふれています。私達が受け取るメッセージは、家庭、職場、地域社会で形づくられ、耳にしたり、話したり、読んだり、オンラインで目にしたりします。無意識のバイアスについては外部的な自分で一心に学んで、それを学んでいこうという意識ではなくて、よく言うテレビであったり、インターネット上で認知したものが、先ほど1番最初のところにありましたけれども、何の確証もないのに、証拠、根拠もないのに、それが自分の中にこう形成されてしまうというところに根深い問題があるのかと思います。

こうした全ての種類、こうした全ての情報を吸収したものは情報を分類して固定観念に当てはめることができ、固定関連については、人や物のタイプについて極端に単純化し、一般化したものです。

固定観念は大して重要ではないと思うかもしれませんが、人やモノを一定の特徴に不条理に当てはめてしまう可能性があります。脳は素早く決定するためにこのような自動的な連想に頼り、偏った考え方に容易に至ってしまいます。後半の部分で、脳を素早く決定するために決定を早くするってということは、非常にポジティブでいいことだと思うのです。決定を早くするためには何をするかというと、人間は学ぶということです。この学んでいくものが、今言った、例えばちゃんとした証拠もない、根拠のないものをインプットしてしまって、自分の思い込みで判断をする材料として持ってしまう。ここに大きな問題があります。

例えば、私の場合は食べ物に例えますけど、これを食べたら美味しかった！あれを食べたらお腹が痛くなった！これはもう自分が経験していることだと思うのですが、わかりやすく言うと食わず嫌いみたいなものですね。自分で食べてはいないのですが、何かの印象であれはまずいに違いない！あれを食べるとお腹を壊すに違いないと勝手に思ってしまって、出されたものもこれは美味しくない勝手に判断してしまふ。こういったような、例えが相応しいかはわかりませんが、そういったことが言えるのかなと思います。

固定観念と無意識のバイアスは後天的であり、幼少時から身につくものなので対処も難しいとされます。これは非常に危険だとは思いますが、これはもう大人になってからは覆すことのできない過去なので、ここにちょっと問題があるのですけど、対処が非常に難しいというのは、その自分に形成されてしまったものが今まで、私であればこの50年以上培われてしまっているの、これをこう拭くことは非常に難しいということだと思います。

このラーニングセンターの中で、例えとして実験の結果をここで示していました。科学者を描く(DAST)と書かれているのですけれども、ある教授が1983年の論文で、子どもたちに「科学者」の絵を描いてもらう実験をおこないました。この「Draw-A-Scientist Test (DAST, 科学者を描く実験)」により、子どもたちが抱く「科学者」の固定観念が明らかになりました。学者を描く実験ということで、子どもたちが科学者と言われるとどんなものを連想するかという実験が行われたそうです。

DAST ジェンダー

世界各地でこの実験が行われた時に、「科学者」の性別について世界各国共通の固定観念があるという結果が示されました。1983年、4800人以上の子どもたちを対象にした研究で、女性の科学者を描いた子どもはわずか28人(いずれも女子)でした。アイルランドでの実験では、女子生徒45人中23人が女性の科学者を描いた一方、男子生徒は全員、男性の科学者を描きました。韓国では生徒の74%が男性の科学者を描きました。南アフリカでは大学1年生を対象に同じ実験をした結果、描かれた科学者は一般的に男性でした。

実際に4800人の28人だと0.6%位です。女性の科学者を絵で描けたのは0.6%で、ちょっと気になったので、実際の研究者のうち女性の比率がどれくらいなのかなってのを調べてみたのですが、実際には世界に29%女性の科学者がいるにも関わらず0.6%しか描かれないということ、これは強い思い込みがあるのではないかと思います。ちなみに調べたところ、ノーベル賞の受賞については全体のわずか3%しか女性が受賞してないそうです。これも、もしかしたら審査をする段階でこういったバイアスが働いている可能性もないとは言えないかなと私は思いました。続いて人種についてです。同じ実験ですが、科学者に対する固定観念が白人であることが示されたのです。

DAST と人種

1989年の実験では、科学者を描いた1600人のうち有色人種の方を描いたのはわずか20人、あとはみんな白人だった！科学者イコール白人という意識が世界中にまだ根強く残っているようです。固定関連の補強ということで説明があったのが、オーストラリアの研究者らによると、メディアにより固定観念が強められるということが示されていると。加えて、台湾では科学者の絵を描くように求められた学生たちが描いたのは教科書に出てくる科学者と非常に似ていた。要は、教科書を見て覚えたものがそのまま科学者ということが刷り込まれてしまっている。

で、こちらのオーストラリアの研究によると、メディア(特にテレビ)に固定観念が強められることが示されています。加えて台湾では、「科学者」の絵を描くように求められた学生たちが描いたのは、教科書に出てくる科学者と非常に似ていたという結果が出ています。私ぐらいの世代では凄くテレビの影響を受けていると思うのですが、最近の若い子たち、私のそれこそ子供の世代以下、若い人たちはむしろ逆にテレビはあまり見ていないですね！テレビ離れが非常に激しいです。うちは学生さんとか若い社会人の方に向けてお部屋を貸したりしているので、私もたまに対応させていただきお話をすると、テレビは置かないのです。今の若い子はそもそもテレビいらなくて、パソコンで済んじゃうのと同じで、そうですと言う人もいますが、携帯あれば、パソコンはいらなくて！スマートフォンで情報発信する。もうそもそもテレビというメディアを選んでいないということで、これを作られた時にはまだテレビに力があつたのかもしれませんが、先ほどお話の通り、テレビの信用はかなり失墜していますので、テレビによる固定関連というのは、これから少し形が変わってくるのかなってことは強く感じています。ずれにしても、こういったものによって刷り込まれたと、私が学生の頃でしたか、ちょっと聞いた話があって、日本風の例えで言うと「かぐや姫」はみんな違うって聞いたことがあるのです。かぐや姫って言われると、皆さんが想像する「かぐや姫」は違うなぜかと言うと、かぐや姫は具現化されていない。かぐや姫の映画はあまりなかったり、シンデレラとお芝居になったりはあるのかもしれないですけど、かぐや姫はなかなかそういう風に描かれてこないの、子供の頃から本で聞いたとのことが多いので、かぐや姫については皆さん連想するものが違う。もしかしたらこういうものが非常に強く働いているのかなとここを学んでいて感じました。人間は誰でも無意識のバイアスを持っていますが、このようなバイアスを自覚することで他人を傷つける可能性のあるバイアスを取り除くことができます。

要は、自分が今お話ししたように、意識的なバイアス、無意識的なバイアスを持っていて、無意識のバイアスこそが人をこう判断したり、もしかしたら何かを決定するときに、じゃあこれは女性に、じゃあこれは男性にとか、あの人がじゃない方がいい、こういう人の方がいいとかってというのが、自分の中で根拠もないのに働いている可能性があるのをそのことに気づくことが重要ですよということが書かれていました。

このランニングセンターの中では、こういう少し問題形式のものも出てきます。おさらいの問題のようになっているのですが、実際にランニングセンターの中で、左側の問題と右側の答えとこう結び付けてやっていくと正解が出てくるページになっているのですが、今は右と左がちやんと並んでないので、これを組み合わせるわけです。

無意識の場合ですと何か自覚のない感情、印象、恐れ及びそれと関連する行為のことを無意識の場合という意識的なバイアスとは、自覚している感情や態度及びそれと関連する行為。無意識のバイアスは誰が持っているかと言われたら、全ての方が無意識のバイアスを持っています。無意識のバイアスがどのように形成されるか！私たちの趣味に溢れる画像や映像、音声、その他の種類のメッセージ、しかも幼少の頃からそれがインプットされてくる。

固定観念については、人や物のタイプについて極端に単純化され一般化された概念のことを固定観念と呼びます。今更というところでもあるのですが、改めてこれを認識しましょうということです。

復習の質問というのが後半に出てきて、これは答え合わせをするというよりは、問いかけで終わっていました。自分と異なるアイデンティティの人や自分と違うコミュニティに属する人について、あなたはどこで学びますか。これを読んで考えてみてくださいという風にされています。2つ質問がありました。1つの質問が、意識的または無意識のバイアスをあなたが目にした経験者、またはそのようなバイアスに基づいて行動した時について考えてみましょう。どのような結果をもたらしましたか、他の人はどのように感じたと思いますか！今日は自分の思い込みによって行動した時のことをちょっとイメージしてみて、その時にどんな結果が待ち受けていたことが想像できるか、または、他の人が、周りの人がどういう風に感じているか、客観的に見た時にどう思いましたかと言う事を考えてみましょう。おそらく、これをここでは質問されているのですが日常これを繰り返さないっていうメッセージじゃないかなとは思いました。

最後のまとめに入ります。私たちが行う決定は、誰かを助けることもあれば、傷つけることもあります。決定に影響を与える可能性のある無意識のバイアスを自覚することは、公正に振る舞う上で必要です。自分が抱えているかもしれない思い込みや先入観について、定期的に考えるようにしましょう。無意識のマイナスは 絶えず形作られるため、絶えず学ぶことが大切です。ということが書かれています。続けて、自分の持つ無意識のバイアスに対処する一方で、職場、学校、地域社会に変化をもたらす機会を模索しましょう。無意識のバイアスがもたらす好ましくない影響を抑え、より公平な世界を築くために、早速行動プランを立ててみましょう。これからも、ロータリーに関わらず、私も職場で地域のコミュニティだとかいろんなところで決定をしていくことがあると思うのですが、こういった時にこれを思い出せるかどうか、何かを決定するときに誤った判断をしないためにも重要なことと学びました。これで私は10項目のランニングセンターを回りました。31くらいチャンネルがあるのですが、そのうちの10項目行けました。目安となる時間が書いてあると前にお話ししましたが、今日は15分の受講です。それを合計していくと、私が受講したのは3時間45分となっていますが、調べて見ているうちにリンクがあり補足説明を見ると、15分のところが1時間になった時もあり、最初から読み返したこともありました。私は初心者なので手始めに時間が短いところを選んでいきます。残りの20項目も頑張っておきたいと思っています。第1回に説明したかと思いますが、全部終わっていきと修了書がダウンロードできますよってお話をしたと思います。私は10項目修了書をダウンロードすることができ、今日のが10項目でした。よろしければ皆さんも頑張っておチャレンジしていただければと思います。

ラーニングセンターについてということで、ここまで4回に渡って私ができる限りで自分の理解が深まっているかどうかも含めて、皆さんの前で説明させていただく機会をいただきました。

RLIに行かせていただいて非常に良かったと思うのはラーニングセンターでちょっと勉強していたので、その内容が出ることもあり、ラーニングセンターで勉強していることを話したら事務局の方に驚かれました。見ている人いるの！皆さん受けている方ばかりなので釈迦に説法だと思いますが、11月から3回続けて行かせていただきました。大きいホールでガバナーもお出でいただき、第1番は全員集合、40~50人ぐらいの受講者と事務局の方とで、まず説明があって、個々の教室、6教室で行われますが、テープが車座になってディスカッション形式で行われるというような内容でした。第1回の時に配られた資料ですが、左側が次第、右側がクラス分けです。自分がどの授業を受けるか、これも皆さんの時も同じですかね！毎回違う方とシャッフルして、毎授業ごとに、名刺交換が始まってみたい、休み時間10分もほとんどそれで費やされるような状態でした。ちょっとハードすぎますよね！50分の授業は午前中が3本、午後が3本ということで、インターバルは10分、その間で教室移動と名刺交換まで終わらせるわけですから、ちょっと隙間に仕事は無理でした。お昼ご飯も1時~1時40分の40分間、これも教室を移動して、移動した先でお弁当を食べて、お手洗い済まして結構ハードでした。前もって脅かされてはいましたが、もう随分きっちり、4時半までがっちりやらせていただいて、参加された皆さんから聞いていると、RLIも数年前から随分様子が変わったって言うっていました。森さんにお話聞いた時には、そんなことも知らないのと、怒られたと聞いていたのでちょっとビクビクしながら行ったのですが、そんな感じではなかったです。

どちらかというと先生と生徒という立ち位置では少し前からなくなり、グループディスカッションを促すためにファシリテーターが真ん中に入ってどう思いますか！あなたはどうですか！あなたのクラブではどうですか！ということをして自由に発言させる。そしてその時にこのテキストの中にある内容でやっていくような感じになっていました。無事に3回が終わり卒業のバッチをいただき、その後懇親会がありまして皆さんとパレスホテルでお食事をしながら色々なお話をし、大変申し訳ないのですが、その中でまたお1人お仕事に繋がる方をキャッチしました。

今日も連絡とりあい、草加駅前の不動産を紹介し、仕事に繋げております。色々な方とお話できたのですが、多分これも目的の一つではないかと密かに思っているのですが、2770地区クラブ方々との交流というか、ディスカッションをして、あなたのクラブはどうですかと言った時に、私が予期していないような答えがあったりと、それを見せる場でもあるのかなという風に思っています。うろ覚えですけど、その時に皆さんが3回を通して言っていた課題について、ちょっとここでご報告をさせていただくと、これも皆さんどこも同じですよ！「会員増強」これはどこのクラブも退会の抑止と会員増強、どうやって会員増やそうか、それに頭を悩ませている。勢いよく増やしたはいけども、1人入れたら1人出てしまった。強引に入れたら1年もしないで辞めてしまった！そんな話も聞きました。あとは会費・寄付金、今日たまたま申し合わせたようですが、この寄付に関しても、草加松原は非常に優秀だということで、先ほどありましたけども、集められてないクラブがあるようです。集め方も色々違うみたいですね！我々の集め方とは違うこともあるようです。

あと話していたら、結構派閥の話が出るのです。びっくりするほどです！RLIは1年目、2年目の若い世代、入会もない人たちがばかりかという、会長も経験されたような人、歴10数年とか20年との方がもう1度学び直しに来ましたという大先輩もいらしたりするのですが、お話聞いていると派閥については結構ありました。大きいクラブ、人数が増えてくるとこのリスクは高まるのだねと話していましたが、それと世代間ギャップもあるようでした。

あとこれは残念ですけど、新たな取り組みに対する反発、クラブによっては黙って去年と同じことやっていけばいいと言うのだそうです。こんなことやったらどうでしょうと言った瞬間、手を叩かれるみたいな、お前らは去年俺たちがやったそのままやっていたらよい！俺たちもそうやってきたのだからというクラブもあるとの話がありました。そして、これもどこのクラブも同じだと思ったのは、ロータリーの認知向上です。地域において普及活動がなかなかうまくいなくて、ロータリーを知ってもらうためにはどうすればいいでしょうと言うのは授業プログラムの中でもありました。実際の例えはどんなことをしますかと、グループディスカッション、AチームとBチームでやって、私も意見をさせていただきました。こういう課題が特に目立って、対決させていただくというものがあるのだからってことを学びました。これを聞いていて、私はその場で思っていたのですが、これはちょっと皆さんに気を遣っているわけではないのですが、草加松原RCはとても良いクラブ！という事を改めて認識することができたのです。というのは、私が知る限りこの中で派閥みたいなものがあつたりとか、隔たりがあるようなことを感じた事は1度もありません。私のような日の浅い人間にもこういうチャンスがいただけたり、学びの場与えていただき、また色々ご意見聞いていただきながら、私もお話をさせていただく仲間に入れていただいているというところと言うと、他のクラブよりも親和性が高いというか、敷居を低くしていただいているクラブとすごく強く感じました。そういう意味で、私は実際このプログラムの中でどうですかと聞かれた時に、今の説明の話をしてきました。我々のクラブは胸を張って若い人と、また新しい取り組みとかに関して結構ポジティブに皆さんで考えて、しかも活動を誰かに押し付けるわけではなく、みんなで行おうというところがすごくあつたりするところに、私はこのクラブに入って本当によかったと、ここに行って強く感じました。

一方で、課題もあるのかなと、どこのクラブでもあるとは思いますがやはり課題は課題であるのかなと思っています。前回のクラブ総会でちょっと話したのですが「委員会」長谷部さんが委員会を盛り上げられたと思うのですが、どうしても委員長一任が多いので、委員会として集まって話し合いをすることをもう少しやった方が当事者意識も芽生え、新しい意見も出てくるのかなと、私は今回このプログラム4回目ですけど、勝手にIT委員長1人でやってしまいました。これも反省です。これは本来、IT委員会として、みんなでやらなければいけなかったことだと反省しています。あとはPRですね！草加松原も認知向上部分をもう少し頑張らなくてはいけない。これは公共イメージだけではなくて、各委員会、皆さんで協力してやるべきことかなと、IT委員として1年間この勉強会の他に目標を掲げさせていただいている活動アルバム更新、結構一生懸命あげていますが、そのご説明は皆さんにしているのですが、残念なことに表に発信してないのです。活動アルバム、私頑張りました。会員の皆さん見てください。これではダメですよ！これを表に持っていくのが本来我々の仕事だったのかなと思うと、もっともっとやっていかなくてはならない。例えば、何かお配りするもの、名刺にQRコードを入れホームページに飛べるようにしたり、何かのイベントの時にはそれをかざすと活動の内容が見られるような、ホームページに誘導できるような、なんと言うのでしょうか、自分たちから動いていく、アクティブなこともやっていかなくてはならないということが、今回このプログラムというか、この説明会を4回やらせていただいたのとRLIが同時期に重なったことで、気づきとして持つことができました。今年1年間やった上で私なりに学んだことがあります。次年度は木村さんのお手伝いさせていただきながら、これをどうやって生かしていくかってことを考えていきたいと思っています。今日いらっしやいませんですけど、このようなチャンスを下さった森さんにも感謝し、1年間皆さんにはお付き合いいただき、ご清聴いただきましてありがとうございました。

富永 悟会長	安田 IT委員長卓話ありがとうございます。またRLIセミナー終了ご苦労様でした。
牛山 信康会員	今日は隅田川河畔を散歩してきました。暖かな日差しでした。
加藤 芳隆会員	今日は安田 IT委員長の卓話ありがとうございます。第4回目で毎回の下調べ準備が大変でしょう。いつも素晴らしい卓話ありがとうございます。
木村 博行会員	安田さんセミナー宜しくお願いします。フジテレビの謝罪会見経営者は大変ですね！
鈴木 努会員	今日も安田さん宜しくお願いします。
田中 和郎会員	庭の白梅・紅梅が咲き始めました。春がそこまで来ているようです。
長谷部 健一会員	ラーニングセンターの卓話、安田会員宜しくお願いします。
安田 洋介会員	本日は今季4回目のラーニングセンターを使った勉強会です。
山崎 秀美会員	1年間お付き合いいただきありがとうございました。
	安田会員ラーニングセミナー楽しみです。新しい発見があります。勉強になります。